

閣下ニ於テハ此書御落手以前己ニ余カ東洋銀行ノ社  
務ヲ辭セシトハ御聞及ノト奉存候余ハ日本出奔前  
ニ於テ此事ヲ決心シ歸途ニ在テモ其心ヲ變セス即未  
タ倫敦表ヨリ何等ノ報聞ヲモ得サルニ先チ「マルセイ  
ル」ヨリ書状ヲ以テ辭職書ヲ贈付致セシ程、次第ニ候  
諸英國ニ於テハ氣候殊ニ凜烈ナルガ故ニ余ハ直チニ  
佛國ノ北部ニ向テ進ムヲ得ス暫ク數週間ハ南部ニ滯  
留ノ積ニ有之候

余ハ未タ將來ノ營業目的ヲ一定不致候シ余ノ營業確  
ト相定候迄ノ處ハ何分ニモ是迄通り諸事東洋銀行ト  
御引合相成候様仕度余ハ斷然高業上ヨリ退キ候ヤモ難  
計候得者若シ然ラサルハ他ノ銀行ト合資シテ横濱



ニ支店ヲ相開候積リ其節ニ至ラハ東洋銀行ヲ差閣キ  
余ニ都テ政府ノ御用御引合ノ義ヲ閣下ニ懇願仕度去  
レ氏當分ノ慶ハ前ニモ申述候通吳々モ是迄通り東洋  
銀行ト御引合相成度希望仕候  
又殊更ニ申述ブルヲ要セサレ氏若シ閣下余ヲ以テ大  
蔵省ノ為メ又ハ日本銀行ト相結合シテ利益ヲ謀ルニ  
足ル者ト御信用相成候ハ、余ハ閣下ノ為メニ盡カシ  
テ必ス成功ヲ誤マタサルヘシ余ハ甚タ日本ヲ愛慕セ  
リ而メ余カ萬事閣下ノ為メニ利益ヲ謀リシトハ閣下  
ノ自カラ記臆セララル、所ナラン余ハ今尚數年間ハ高  
貴ナル權士ノ為メニ懇親ヲ被リタル國ニ於テ光陰ヲ  
送ラントヲ希望致シ候  
東洋銀行ノ利益配當ハ現ニ甚タ少額ナリ其再ニ大額

ノ配當ヲナシ得ルニ至ルノ日ハ遙カ數閱年ノ後ナラ  
シトヲ余ハ竊カニ恐居候

八十年四月二十日

チヨン、ロベルトソン

大隈公閣下

進見余ハ左ノ所ニ居住仕候

倫敦……町二十三番

マルコルクブルムケル商會ニ於テ

チヨン、ロベルトソン

